

第30回国立大学法人奈良女子大学経営協議会議事要録

日 時 平成23年6月20日(月)午後2時30分～午後5時20分
場 所 第一会議室(事務局管理棟3階)
出席者 野口学長、富崎理事、中島理事、馬場理事、本田理事、馬越委員、湯山委員
欠席者 尾池委員、河井委員、山口委員
列席者 今井監事、外嶋総務・企画課長、大原研究協力課長、水谷財務課長、人見施設
企画課長、藤熊学務課長、渡邊学生生活課長、山崎図書課長、小田原国際課課
長補佐、木下総務・企画課課長補佐、桑原総務・企画課総務係長
議 長 野口学長

議事に先立ち、

- (1) 学長から、4月1日付けの役員異動について報告があり、新たに就任した富崎理事、中島理事の紹介があった。
- (2) 第29回経営協議会記録(平成23年3月23日開催)を確認。

審議事項

1. 平成22年度決算について

財務課長から、平成22年度決算の状況並びに本学の財務運営分析の概要について資料1により説明があった。また、資料1-1～1-4により平成22事業年度財務諸表として文部科学大臣に提出することとなることの説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、以下の意見があり、学長及び財務課長から説明が行われた。

- 業務費に対して非常に高い割合を占める人件費比率の要因及び改善に向けた取組みについて
- 運営費交付金の削減及び厳しい概算要求の現状における大学の教育研究設備の整備更新計画の取組みについて

さらに、委員から、競争的研究経費や補助金等の減少状況に関わり、本学の特色を活かし、補助事業獲得に向けて積極的に働き掛ける必要があるとの意見があった。

2. 平成22事業年度に係る業務の実績報告について

学長から、第1期中期目標期間における国立大学法人の評価に関する成果並びに課題を受けた第2期中期目標期間の各年度実績報告に係る主な改善点等について参考資料1により説明の後、国立大学法人評価委員会へ提出することとなる資料2の業務実績報告書(案)並びに参考資料2の平成22年度計画各事項の実績にもとづき、各理事から概要について説明があり、審議の結果、細部の整理等については学長に一任することとして、これを承認した。

なお、委員から、平成22年度の業務実績に関し、以下の意見があり、学長及び理事

等から具体の取組み内容等について説明があり、意見交換が行われた。

- 学生支援の一環としての育児奨学金制度導入に向けた検討の具体的内容について
- 教育の実施体制を強化する方策としての学生による授業評価実施後の活用方策の取組みについて
- 学内研究推進プロジェクト経費及び若手女性研究者支援経費の支援対象者及び支援の拡大を含む今後の展開について
- 総人件費削減計画の目標を超える人件費削減に係る教育研究活動等への影響や、教員等への影響について
- 地域の文化振興への取組みとして、重要文化財建造物である記念館と奈良国立博物館が所有する重要文化財建造物とが連携して行う奈良地域の近代建造物活用方策の可能性について

3. 平成 24 年度概算要求事項について

学長から、第 2 期中期目標期間となる平成 22 年度以降の概算要求の取扱いについて説明の後、平成 24 年度の特別経費（プロジェクト分及び基盤的設備等整備分）概算要求事項に係る学内の要求事項について資料 3 により説明の後、最終の要求事項の調整及び要求順位の決定等については、今後の文部科学省と事前協議を踏まえた調整を必要とすることから、学長に一任いただきたいとの提案があり、これを承認した。

4. 役員の平成 23 年 6 月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について

学長から、国立大学法人奈良女子大学役員給与規程にもとづく勤勉手当の成績率の取扱いについて資料 4 により説明の後、6 月期に支給する役員の勤勉手当の勤務成績評価の取扱いについて諮られ、審議の結果、第 1 期中期目標期間の本学評価結果を勘案し、全役員に対し標準である 72.5/100 を適用することとした。

報告事項

1. 本学の最近のおもな動きについて

学長から、組織・業務の見直し及び教育研究組織の見直しを中心とした本学の最近の主な動きについて報告資料 1 により説明があった。

以 上